

冬のスポーツ！ゴールを目指す  
町民スケート、スキー大会開催

第34回・町民スケート大会と町民スキー大会が開催されました。

1月23日、町民スケートリンクで行われた町民スケート大会には、町内の小中学生、一般の方あわせて23名が参加し、厳しい寒さの中、選手は大きな声援を受け、ゴールを目指し懸命に滑っていました。

2月6日は共和のファミリースキー場で、町民スキー大会が行われ、小学生28名が回転競技に参加し、低い姿勢でタイムを競いました。競技終了後には「川端絵美」さんとのジャンケン大会も行われ、勝利すると大きな歓声が上がっていました。



氷の上を舞うような滑りでした



全国大会に向け抱負を語る活活リコーダー



低い姿勢でゴールを目指します

勝利を胸に全国大会へ挑む  
ソフトテニス、活活リコーダー全国出場決定！

1月17日、札幌市で行われた第7回北海道小学生ソフトテニスインドア選手権大会の小学4年生以下男子の部で、佐藤竜斗君・中山玲音君のペアが3位に入賞し、全国大会の出場が決定しました。

また、1月11日には札幌市で行われた第25回全道リコーダーコンテストで活活小中学校が、中学生部門で金賞に輝き、9回連続の全国大会出場を決めました。

佐藤多一町長は「こちらで応援していますので、体に気をつけ、全国大会でも頑張ってください」と全国での活躍を期待して、激励の言葉を贈りました。



全国大会を前に緊張を隠せない佐藤・中山ペア

元日本アルペンスキー競技選手  
川端絵美さんのスキー講習会開催

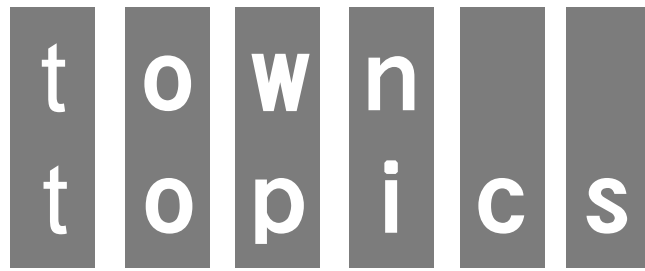
2月4日、5日、元アルペンスキー（斜面を滑り降りるスキー競技）のオリンピック選手「川端絵美」さんのスキー教室が開催されました。

2月4日、学校スキー授業の講師として、今年活活小学校の児童24名に、北見市若松スキー場において熱心な指導をされ、終了後は学校に戻り、児童と給食を食べて交流を図りました。



2月5日、ファミリースキー場において開催された、アソビバつべつ事業（社会教育課主催）の講習会には、町内の小学生41名の参加がありました。

まちのわだい



北国の冬を楽しむ  
子ども冬まつりが開催されました

2月11日、津別小学校小グラウンドで、親子で冬の楽しさを体験してもらうことを目的に第8回子ども冬まつりが開催されました。このお祭りには、150人の児童と50人の保護者が訪れ、会場にあるそれぞれの催しで楽しみました。

会場には、雪上でパークゴルフを行う「ゴルフポッカ」や例年大人気の「氷柱抱きつき」、雪球標的落とし、長くつ飛ばしなどたくさんゲームがあり、元気に遊ぶ多くの子ども達で賑わいました。



校舎入り口前に設置されたテントには、暖かい牛乳やココアも用意され、冬の1日を楽しく過ごしました。

1月28日、津別町林業研修会館で「地球環境とバイオマスエネルギー」をテーマに環境講演会（津別町環境衛生推進協議会主催）が開催され、約30人の参加がありました。

講師には、世界100ヶ国を旅してきたエコロジスト（環境保護に努める人）の松本英揮さんが招かれ、スライドを用いながら欧州環境先進国のエコ対策やドイツの持続可能森林政策などを説明。「未来ある子ども達に資源の大切さを伝えなければなりません」と参加者に呼びかけ、環境に優しい地域づくりについて理解を深めました。



資源の大切さを知る  
環境講演会が開催されました

鬼はそと、福はうち  
豆まき会が行われました



2月3日、児童館「つべつん」2階で、「節分の日・豆まき会」が行われました。

節分は、毎年恒例の行事で「季節を分ける」という意味があり、節分の翌日が立春。まかれた豆を自分の年齢（数え年）の数だけ食べると、体が丈夫になると言う風習があります。

子供たちは、児童教育指導員の百瀬さんから節分の由来について、話を聞いた後、「鬼はそと、福はうち」の大きな掛け声で、逃げる鬼に向かって豆まきを体験し、その後、豆を拾って食べました。

夫婦仲良く元気に  
長寿者夫婦の集いが開催



2月2日、町民会館・講堂でご夫婦の年齢が140歳以上の方を対象にした「長寿者夫婦の集い」（津別町社会福祉協議会主催）が32組、64名の方が参加し開催されました。

はじめに活活駐在所の成田英聡巡查部長の、交通安全と振り込み詐欺の防止の講話がありました。その後、8チーム対抗のトーナメントで「玉入れ」ゲームが行われ会場は大いに盛り上がりました。

昼食は、ボランティアの方々を用意した寄せ鍋を囲み、色々な話をし、楽しいひとときを過ごしました。

食事を見直したい方を対象に  
「食べ方教室」が開催



1月24日、町民会館・和室で「食べ方教室」（保健福祉課・健康医療グループ主催）が、40歳から70歳で生活習慣病を予防したい方、食事を見直したい方を対象に開催されました。

参加者は、電卓を使って自分の身長から必要なエネルギー量（カロリー）を計算し、一日の食品の基準量を確認しました。

最後に自分に見合ったご飯の量を計量して、ボランティアの方が調理したバランスの良い1食分の、減塩で食物繊維たっぷりの美味しく工夫された食事を試食し、普段の食事と比較することが出来ました。